

2027年1月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2026年6月15日

上場会社名 アセンテック株式会社 上場取引所 東
 コード番号 3565 URL <https://www.ascentech.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 松浦 崇
 問合せ先責任者 (役職名) 管理本部長 (氏名) 佐藤 正信 TEL 03(6859)3565
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2027年1月期第1四半期の連結業績（2026年2月1日～2026年4月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年1月期第1四半期	3,410	△45.5	571	△26.7	363	△68.2	249	△68.5
2026年1月期第1四半期	6,252	119.9	779	408.3	1,142	385.2	791	386.5

(注) 包括利益 2027年1月期第1四半期 287百万円 (△63.1%) 2026年1月期第1四半期 778百万円 (317.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年1月期第1四半期	5.80	—
2026年1月期第1四半期	18.57	—

(注) 1. 当社は、2026年5月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、1株当たり四半期純利益金額を算定しております。
 2. 潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年1月期第1四半期	32,698	6,063	18.5
2026年1月期	35,266	6,206	17.6

(参考) 自己資本 2027年1月期第1四半期 6,063百万円 2026年1月期 6,206百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年1月期	—	0.00	—	30.00	30.00
2027年1月期	—	—	—	—	—
2027年1月期（予想）	—	7.00	—	8.00	15.00

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. 当社は、2026年5月1日付で、普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。2027年1月期（予想）の1株当たり年間配当金については、当該株式分割を考慮した金額を記載しております。株式分割を考慮しない場合の2027年1月期（予想）の1株当たり年間配当金は45円00銭となります。

3. 2027年1月期の連結業績予想（2026年2月1日～2027年1月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	8,200	△24.3	900	△18.1	950	△14.9	655	△15.3	15.24
通期	17,500	1.4	2,000	△29.6	2,100	△27.4	1,430	△30.6	33.28

(注) 1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無
 2. 1株当たり当期純利益については、「2. 配当の状況」に注記した株式分割の影響を考慮した額を記載しております。なお、株式分割を考慮しない場合の2027年1月期の連結業績予想における第2四半期（累計）の1株

当たり当期純利益は45円74銭となります。また、通期の1株当たり当期純利益は99円86銭となります。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年1月期1Q	43,740,000株	2026年1月期	43,740,000株
② 期末自己株式数	2027年1月期1Q	783,246株	2026年1月期	783,246株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年1月期1Q	42,956,754株	2026年1月期1Q	42,621,351株

(注) 当社は、2026年5月1日付で普通株式1株につき3株の割合で株式分割を行っております。前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して、「期末発行済株式数」、「期末自己株式数」及び「期中平均株式数」を算定しております。

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があり、当社は将来予測に関するいかなる内容についても、その確実性を保証するものではありません。業績予測の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	4
四半期連結損益計算書	4
四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(セグメント情報等の注記)	6
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(重要な後発事象)	6

1. 当四半期決算に関する定性的情報

文中の将来に関する事項は、当四半期連結会計期間の末日現在において判断したものであります。

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期連結累計期間（2026年2月1日～2026年4月30日）は、引き続き、ワークスタイルとしてハイブリッドワークの定着が進んでいると考えております。一方で、ランサムウェア対策を中心としたセキュリティ対策の高度化が求められており、仮想デスクトップ及びゼロトラストセキュリティの需要は引き続き堅調に推移すると予測しています。また、企業におけるAI活用の進展に伴い、AIを安全に活用するためのIT基盤や、セキュリティ対策の重要性が高まっています。今後、セキュリティを確保したAIを支えるITインフラの需要が拡大すると考えています。

当第1四半期連結累計期間においては、成長戦略の一つである「価値創造を軸に製品力を強化し、利益成長を実現」において、新たな自社製品として、バーチャルヒューマン向けに最適化されたAI基盤として「Edge AI Array」を発表しました。また、参入したAI事業においては、オンプレミスAIソリューション「SapiaBox」提供を発表し、さらなる製品力の強化に努めてまいりました。

さらに、「ストックビジネスの拡大」においては、引き続き、金融機関、医療、地方公共団体等、業界に特化し、その業界における、お客様導入事例の横展開を図り、「リモートPCアレイ」などの自営保守サービスを含めた自社製品の売上拡大に注力したことなどにより、当連結会計年度においては、売上ベースで687,846千円となりました。また、新規受注ベースでも795,164千円となり、今後の売上、利益に寄与してまいります。

当第1四半期連結累計期間の売上高につきましては、仮想デスクトップ事業領域において、前年同期に計上した仮想デスクトップソフトウェアの大型案件の反動減が主要因となり、減収となりました。

利益面につきましては、クラウドインフラ事業領域の自社製品である「リモートPCアレイ」が、総務省の新ガイドラインに沿って地方自治体への導入が堅調に推移したことに加え、利益率の高いゼロトラスト事業領域の製品についても大企業向け導入が進んだことにより利益増加要因があったものの、減収の影響から仮想デスクトップ事業領域の売上総利益が減少したため、全体としては減益となりました。

また、受注時に為替予約（為替ヘッジ）を実施しているものの、円安等によるコスト増加の影響を受けております。加えて、Cloud Software Group, Inc.（本社：米国フロリダ州フォートローダーデール）との戦略的業務提携に基づき計上した外貨建負債の時価評価を行っていること等により、為替差損239,715千円を計上しております。

これらの結果、当第1四半期連結累計期間の経営成績は、売上高3,410,092千円（前年同四半期比45.5%減）、営業利益571,347千円（前年同四半期比26.7%減）、経常利益363,285千円（前年同四半期比68.2%減）、親会社株主に帰属する四半期純利益249,343千円（前年同四半期比68.5%減）となりました。

なお、当社グループはITインフラ事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載は省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第1四半期連結会計期間末の資産合計は、32,698,637千円と前連結会計年度末に比べて2,567,812千円の減少となりました。これは主に、現金及び預金が2,103,972千円、長期前払費用が931,595千円減少したためであります。

(負債)

当第1四半期連結会計期間末の負債合計は、26,634,653千円と前連結会計年度末に比べて2,425,261千円の減少となりました。これは主に、買掛金が1,989,175千円及び未払法人税等が660,151千円減少したためであります。

(純資産)

当第1四半期連結会計期間末の純資産合計は、6,063,983千円と前連結会計年度末に比べて142,551千円の減少となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益249,343千円の計上により利益剰余金が増加したものの、配当金の支払429,567千円により、利益剰余金が減少したためであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2027年1月期の連結業績予想につきましては、2026年3月17日発表の「2026年1月期決算短信」で公表しました連結業績予想と差異はございません。なお、今後、修正が必要と判断された場合は速やかに公表いたします。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2026年1月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年4月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	12,576,706	10,472,733
売掛金	11,023,579	10,783,182
商品	685,639	720,952
仕掛品	27,369	18,907
前払費用	3,713,808	3,962,242
その他	1,914,871	2,393,428
流動資産合計	29,941,974	28,351,446
固定資産		
有形固定資産	126,776	120,202
無形固定資産		
のれん	60,096	55,088
その他	96,218	88,129
無形固定資産合計	156,314	143,218
投資その他の資産		
長期前払費用	4,335,015	3,403,419
その他	706,368	680,349
投資その他の資産合計	5,041,384	4,083,769
固定資産合計	5,324,475	4,347,190
資産合計	35,266,449	32,698,637
負債の部		
流動負債		
買掛金	14,344,319	12,355,144
未払金	2,561,993	3,213,684
未払法人税等	774,390	114,238
契約負債	1,353,302	1,334,481
その他	608,390	559,959
流動負債合計	19,642,396	17,577,510
固定負債		
退職給付に係る負債	28,695	28,740
長期未払金	9,352,199	8,991,779
その他	36,624	36,624
固定負債合計	9,417,518	9,057,143
負債合計	29,059,915	26,634,653
純資産の部		
株主資本		
資本金	554,629	554,629
資本剰余金	565,451	565,451
利益剰余金	5,337,580	5,157,357
自己株式	△237,680	△237,680
株主資本合計	6,219,982	6,039,758
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,278	△5,439
繰延ヘッジ損益	△9,168	29,664
その他の包括利益累計額合計	△13,447	24,224
純資産合計	6,206,534	6,063,983
負債純資産合計	35,266,449	32,698,637

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)
売上高	6,252,247	3,410,092
売上原価	5,202,018	2,569,049
売上総利益	1,050,229	841,042
販売費及び一般管理費	270,323	269,695
営業利益	779,905	571,347
営業外収益		
受取利息	2,745	18,519
受取賃貸料	9,376	12,510
為替差益	350,517	—
その他	544	623
営業外収益合計	363,183	31,653
営業外費用		
為替差損	—	239,715
株式交付費	1,036	—
営業外費用合計	1,036	239,715
経常利益	1,142,053	363,285
特別利益		
新株予約権戻入益	1,732	—
特別利益合計	1,732	—
税金等調整前四半期純利益	1,143,786	363,285
法人税、住民税及び事業税	344,975	106,901
法人税等調整額	7,329	7,040
法人税等合計	352,304	113,941
四半期純利益	791,481	249,343
親会社株主に帰属する四半期純利益	791,481	249,343

(四半期連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)
四半期純利益	791,481	249,343
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△8,902	△1,160
繰延ヘッジ損益	△3,711	38,833
その他の包括利益合計	△12,614	37,672
四半期包括利益	778,867	287,016
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	778,867	287,016

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前題に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等の注記)

【セグメント情報】

当社グループの事業セグメントは、ITインフラ事業のみの単一セグメントであるため、セグメント情報の記載を省略しております。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書に関する注記)

当第1四半期連結累計期間に係る四半期連結キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期連結累計期間に係る減価償却費（のれんを除く無形固定資産に係る償却費を含む。）及びのれんの償却額は、次のとおりであります。

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年2月1日 至 2025年4月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年2月1日 至 2026年4月30日)
減価償却費	25,969千円	24,836千円
のれんの償却額	5,008 "	5,008 "

(重要な後発事象)

(株式分割)

当社は、2026年3月17日開催の取締役会において、2026年5月1日付で株式分割を行う旨を決議し、以下のとおり実施いたしました。

1. 株式分割の目的

投資単位当たりの金額を引き下げることにより、投資家の皆様がより投資しやすい環境を整え、投資家層の拡大と当社株式の流動性の向上を図ることを目的とするものであります。

2. 株式分割の概要

(1) 株式分割の方法

2026年4月30日（木）を基準日として、同日最終の株主名簿に記載または記録された株主の所有する普通株式を、1株につき3株の割合をもって分割いたしました。

(2) 分割により増加する株式数

①株式分割前の発行済株式総数	14,580,000株
②株式分割により増加する株式数	29,160,000株
③株式分割後の発行済株式総数	43,740,000株
④株式分割後の発行可能株式総数	134,304,000株

(3) 分割の日程

①基準日公告日	2026年4月14日
②分割の基準日	2026年4月30日
③分割の効力発生日	2026年5月1日

3. 株式分割に伴う定款の一部変更

(1) 変更の理由

今回の株式分割に伴い、会社法第184条第2項の規定に基づき、2026年5月1日を効力発生日として、当社定款の一部を変更いたしました。

(2) 定款変更の内容

(下線部が変更部分)

現行定款	変更後定款
(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>44,768,000</u> 株とする。	(発行可能株式総数) 第6条 当社の発行可能株式総数は、 <u>134,304,000</u> 株とする。

(3) 変更の日程

取締役会決議日	2026年3月17日
効力発生日	2026年5月1日

4. その他

資本金の額の変更

今回の株式分割に際して、資本金の額の変更はありません。